

令和4年度

事業報告書

学校法人 三室戸学園

目 次

I	法人の概要	1
II	事業の概要	3
III	項目別取組状況	3
1	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置	3
(1)	大学及び短期大学等の教育に関する目標を達成するための措置	3
(2)	附属学校等に関する目標を達成するための措置	5
(3)	研究に関する目標を達成するための措置	5
(4)	社会連携及び社会貢献に関する目標を達成するための措置	5
2	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	6
(1)	組織運営の改善に関する目標を達成するための措置	6
(2)	財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	6
(3)	施設設備整備、安全管理及び法令順守等に関する目標を達成するための措置	7
(4)	自己点検・自己評価及び情報公開等に関する目標を達成するための措置	8
(5)	主な演奏会等実施一覧	9
(6)	フォトギャラリー	10
IV	財務の概要	16
1.	決算の概要	16
(1)	令和4年度の状況	16
(2)	平成30年度以降の状況	16
(3)	資金収支計算書関係	17
(4)	事業活動収支計算書関係	18
(5)	貸借対照表関係	19
2.	有価証券、借入金等の状況	19
3.	財産目録	20
4.	主な財務関連用語の説明	21

令和4年度 事業報告書

[学校法人 三室戸学園]

I 法人の概要

1 基本情報

- (1) 法人の名称：学校法人三室戸学園
- (2) 主たる事務所の住所：東京都文京区大塚4-46-9

2 建学の精神

音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目途とする。

3 学校法人の沿革

学校法人三室戸学園は、学祖三室戸敬光が昭和9(1934)年11月、東京高等音楽学院学院長在職中に私財を投じて、「東京高等音楽学院大塚分教場」を開設し、昭和13(1938)年2月に三室戸為光がこれを継承し、東京都文京区に分離独立の上、「東邦音楽学校」と改称し、昼夜二部制の音楽理論と実技の授業を行う全国最初の学校としてスタートした時に始まる。

昭和22(1947)年に東邦中学校(男女共学)を開学、翌年には東邦高等学校を開学し、普通科に加え、全国初となる音楽科を開設した。

昭和26(1951)年に東邦音楽短期大学(音楽科)を開学、昭和38(1963)年に埼玉県川越市今泉に川越キャンパスを整備し、東邦第二高等学校(普通科・女子)を開学した。なお、同高等学校は、昭和44(1969)年に普通科を音楽科に改め、平成15(2003)年に男女共学制に移行している。

昭和40(1965)年に川越キャンパスに東邦音楽大学(音楽学部音楽学科)を開学し、平成13(2001)年には東邦中学校、東邦高等学校、東邦第二高等学校を大学の附属学校とした。さらに、平成16(2004)年に東邦音楽大学大学院(音楽研究科修士課程)を開設した。

4 設置する学校、学部、学科

- 東邦音楽大学大学院 [音楽研究科]
- 東邦音楽大学 [音楽学部音楽学科]
- 東邦音楽短期大学 [音楽科]
- 東邦音楽大学附属東邦高等学校(全日制の課程) [音楽科]
- 東邦音楽大学附属東邦第二高等学校(全日制の課程) [音楽科]
- 東邦音楽大学附属東邦中学校
- 東邦音楽学校

5 入学定員の変更

- 東邦音楽短期大学 [音楽科] 50人(現行) → 20人(令和5年度入学者から)

6 学生・生徒数（令和4年5月1日現在）

学校名	入学定員	入学者数	収容定員	現員数
東邦音楽大学大学院	15人	10人	30人	23人
東邦音楽大学	100人	68人	420人	284人
東邦音楽短期大学	50人	13人	100人	27人
附属東邦高等学校	60人	16人	180人	53人
附属東邦第二高等学校	40人	26人	120人	77人
附属東邦中学校	40人	11人	120人	25人
東邦音楽学校	一人	一人	一人	一人

* 東邦音楽学校の学生・生徒数は「教養科」の生徒数である。

7 収容定員充足率（令和4年5月1日現在）

学校名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
東邦音楽大学	51.2%	55.2%	57.6%	63.6%	67.6%
東邦音楽短期大学	100.0%	74.0%	58.0%	35.0%	27.0%

8 役員の概要（令和4年5月1日現在）

(1) 定員数

理事：5人以上7人以内、監事：2人

(2) 役員の氏名

理事長：三室戸東光

理事：粕谷宏美、三室戸元光、吉野正巳、西修一郎、佐浦國雄

監事：上田 孝、和田正夫

9 評議員の概要（令和4年5月1日現在）

定員数：11人以上23人以内、現員数：17人

10 教職員の概要（令和4年5月1日現在） ※（ ）うち特任教員数

学校名	教授	准教授	専任講師	講師	計
東邦音楽大学大学院	7 (7)	2 (2)	0	6	15
東邦音楽大学	17 (14)	14 (7)	4 (1)	89	124
東邦音楽短期大学	3	1	3 (2)	3	10
計	27	17	7	98	149

学校名	校長	教頭	教諭	講師	計
東邦中学校	1	1	5	5	10
東邦高等学校			5	9	16
東邦音楽学校		0	0	15	15
東邦第二高等学校	1	1	7	11	20
計	2	2	17	40	61

※校長、教頭は高校の教員にカウント

キャンパス	事務職員
文京キャンパス	29
川越キャンパス	20

II 事業の概要

令和4年度は、第四期中期計画が掲げる5年計画の2年目であった。令和3年度から開始した第4期中期計画（2021（令和3）～2025（令和7）年）においては、文部科学省が今後の教育の在り方として示している「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」（平成30年11月26日中央教育審議会答申）等を踏まえるとともに、私学を取り巻く厳しい環境、安定した財務基盤の構築、そして令和2年度に受審した認証評価での改善すべき事項に真摯に取り組みつつ、理事長・学長のリーダーシップの下、本学園の総力を結集して音楽芸術研鑽のための教育組織として社会に広く貢献するとともに持続的な発展を目指すこととしている。

さらに、本学園は、2028（令和10）年に創立90周年を迎えることから、「TOHO VISION 90」として、「小規模ながら確固たる個性と存在感があり、未来に向かって新しい価値を創造する学園」を実現すべき姿として掲げ、本中期計画期間終了時において、その3年後には、本学園が創立90周年を確たる存在で迎えらるよう、実行すべき項目を示している。そしてその実現のために、年度ごとに計画を立案するとともに、アクションプランとしてより具体的な行動計画書を作成して、全学をあげて取り組んでいくこととしている。

令和4年度は理事長・学長をトップとして全学的な体制により、教育の質的向上を目指す取組を様々な分野で展開した。

一方、新型コロナウイルス感染症に関しては、前年度に引き続き、その感染拡大を防止する必要があることから、様々な制約がある状況の中で、万全を期した対応策を講じつつ、対面での授業・レッスンや、演奏会などのイベントを実施した。

III 項目別取組状況

令和4年度に実施した取組の主な内容は、以下に示すとおりである。

1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための取組

(1) 大学及び短期大学等の教育に関する目標を達成するための取組

① 学生募集活動

- ・ 学生獲得増に向けたアクションプランに基づき、行動計画（イベント年間スケジュール）を策定し募集活動を行った。
- ・ 新たに基礎力診断を導入し、受験生等の総合的な音楽力の診断を行った。（6月～10月 5回実施）
- ・ スキルアップ講習会を実施し、楽典、聴音、実技レッスン、小論文の指導を行い、受験生の学習支援に努めた。
- ・ 中国人留学生対応のため、8月にリモートによる現地入試を行った。

② 教育内容・教育成果等の充実

- ・ 令和3年度に制定した「教育の内部質保証の方針」に従い学修成果、教育成果の把握、可視化を進めた。
- ・ インターンシップ成果発表を東邦スタンダード授業で実施（令和3年度より）することにより、学生間で成果の共有をはかることができた。これにより、令和4年度のインターンシップ参加者は13名（前年8名）と増加させることができた。
- ・ 日本音楽療法学会認定音楽療法士（補）認定試験合格率は、100%となった。

③ 教育の実施体制等の充実・強化

- ・ 18歳人口の減少等、大学を取り巻く環境が厳しくなっている中、今後の音楽大学の在り方について検討をすすめるため9月7日にFD研修を実施した。

【講師】久保田 慶一氏（東京経済大学客員教授）

【テーマ】「これからの音楽大学を考えるために」

- ・ 教育の内部質保証の方針に従い、以下について導入を進めた。
 - 短大アセスメントポリシーの導入
 - 専攻別ディプロマポリシーの導入
 - ルーブリックについての考え方導入（東邦スタンダードルーブリック導入、レポートルーブリック導入）
 - 成績の相対評価基準導入
 - ディプロマ達成度レーダーチャート導入
 - ティーチングポートフォリオ導入

④ 学生への支援の充実

- ・ 入学者全員に対して楽典の課題を与えて、提出を義務付けるなど、学び方の基本を身に付けさせることとし入学前教育の充実をはかった。
- ・ 修学環境整備として、文京キャンパスパソコン教室の備品（PC）の全面入れ替えを実施した。
- ・ 令和4年度奨学金は「東邦令和特別奨学金」については、東邦音楽大学3名、東邦音楽短期大学1名、東邦音楽大学大学院2名に各24万円を給付、「東邦音楽大学奨学金」については8名に各40万円を給付した。
- ・ キャリア支援を行い、令和4年3月卒業の大学生（63名）で、就職希望の38名のうち全員が就職した（就職率100%）。また、短期大学生（9名）においても就職希望の2名全員が就職した（就職率100%）。

⑤ 国際化の推進

- ・ 「東邦ウィーンアカデミー」については、実施に向け外務省による感染症危険情報および入出国規制状況、また学生のワクチン接種状況の調査等、万全の準備を施し、9月14日よりスタートさせることができた。年度末までに計8回、延べ89名の学生が参加し、感染者を発生させることなく無事終了することができた。

また、演奏演習（演奏旅行）については、東邦ウィーンアカデミーとのスケジュールの兼ね合いによりハンガリーへの渡航ができないことから、今年度も昨年同様リゾナーレハケ岳において国内での演奏収録旅行とし、10月25日～27日に実施した。収録VTRをハンガリー現地に配信し好評を博した。

(2) 附属学校等に関する目標を達成するための取組

① 生徒及び受講生の確保

- ・ 学生獲得増に向けたアクションプランに基づいて、「令和4年度生徒獲得増に向けた行動計画」を策定し、募集活動を行った。

② 附属学校における教育の充実

- ・ 東邦中学校と東邦高等学校の合同編成や第二高等学校全学年の合同編成によりウインドオーケストラを実施するなど、実践的な授業を行った。
- ・ 少人数制による One to One のきめ細かい教育の実践に努めた。また、大学、短期大学の教授陣による個人レッスンを実施した。

③ 高大接続と相互連携の強化

- ・ 本学の2つの附属高等学校の生徒を対象に「体験授業」を実施した。
- ・ 附属高校と大学及び短期大学が相互の連携強化ができるよう、責任者会議を各校と3回開催した。
- ・ 大学及び短期大学の教員が附属高等学校生徒を対象にしたスペシャルオープンキャンパスにおいて、本学の教育体制等について説明を行った。

(3) 研究に関する目標を達成するための取組

① 研究の推進と研究水準の高度化

- ・ 令和4年度の科学研究費「若手研究」で、「ドイツ語のリズム規定における『弱化』の知覚と生成」(准教授)が採択された。なお、採択者は上智大学の共同研究員として本研究の高度化に取り組んでいる。
- ・ 本学教員の研究活動の推進及び研究倫理の理解を深めるため、e-learning 研修資料を作成した。
- ・ 大学院学生に対する研究指導を充実させるとともに、研究倫理教育を実施した。

② 研究推進体制等の充実

- ・ 研究推進・倫理委員会を定期的に開催(4回)し、研究推進方策等について、関係部門との連携などの検討を進めた。

③ 研究成果の積極的な公表

- ・ 教員の研究成果をまとめ、公表するため、「研究紀要(第30号)」の準備を進めた。
- ・ 学園ウェブサイトの「教育研究者一覧」について、掲載内容の充実に努めた。

(4) 社会連携及び社会貢献に関する目標を達成するための取組

① 社会連携事業の推進

- ・ 川越市との協定に基づき、9月10日に市主催「2音大クラシック・コンサート」において、尚美学園大学と東邦音楽大学との競演を行い、また、3月4日、25日に大学間連携講座「オペラの魅力を伝える」を開催した。
- ・ 2004(平成16)年から実施している文京アカデミー大学連携講座は、コロナ禍の影響が残ったものの、令和4年度はギター、ピアノ、音楽史、音楽療法の4講座について実施することができた。
- ・ ふじみ野市との協定に基づき、6月8日・9日にふじみ野市小学校音楽鑑賞教室(ウインドオーケストラ)を開催した。
- ・ 埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)連携協定に基づき、TJUP公開講座を都合3回実施した。(8月25日、10月2日、12月17日)

【参考】自治体等との協定締結は、以下のとおり。(締結年月)

埼玉県川越市(平成19年11月)

東京都文京区(平成20年3月)

新国立劇場運営財団(平成27年6月)

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(平成27年12月)

埼玉県ふじみ野市(平成28年5月)

埼玉東上地域大学教育プラットフォーム発足(平成30年9月)

埼玉県和光市・和光市文化振興公社(平成31年4月)

② 社会貢献活動の推進

- ・ 6月17日に東京都青梅市小学校音楽鑑賞教室(オーケストラ)を実施した。
- ・ 12月11日に川越市南古谷地域会議主催「0歳児からのコンサート in 南古谷」を実施した。
- ・ 2月26日に埼玉県日高市ファミリーコンサート「親子のためのワンダー・キンダー・コンサート」イン日高(学生有志)を実施した。
- ・ 10月に沖縄県読谷村立山田小学校からの熱心な要請に基づき、短期大学の学生国内演奏旅行を実施した。現地の小学生達から歓迎されるとともに、楽しんでいただける演奏会を開催することができた。
- ・ 附属中学校・高等学校は、ユネスコパートナーシップ世界遺産トーチランコンサート協会と共催で、東京都豊島区「南大塚ホール」(4月22日)並びに北区北とぴあ「つつじホール」(10月28日)において、クラシックコンサート～東京さくらトラム沿線の文化と景観を後世に残す～を開催した。また、世界遺産条約50周年・沖縄返還50周年として、浜離宮朝日ホール(12月6日)でのトーチランコンサートに合唱団として出演した。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

(1) 組織運営の改善に関する目標を達成するための取組

① 組織運営機能の強化

- ・ 大学(短期大学、附属学校等を含む)の円滑な運営を図ることを目的とする「責任者会議」を7月21日と1月24日に開催し、理事長・学長の講話の後、各部門の情報共有と連携強化促進に努めた。
- ・ 9月7日にFD/SD合同研修会を開催し、大学を取り巻く経済事情の変動や社会のニーズに対応するため、東京経済大学客員教授の久保田慶一氏を招き、将来の「音楽大学の生き残る道」をテーマに、他大学の事例や芸術系大学の将来を見据えた教育改革など、本学にとって直面な課題として取り上げ教職員の資質向上を図った。
- ・ 事務職員の業務に必要な知識及び技能の習得とその能力及び資質向上を目的として、9月7日に中堅・若手事務職員SD研修会を実施し、本学園監事による「経済情勢やハラスメント」をテーマに取り上げ、高等教育機関の職員として、職員一人一人の管理能力、実務能力を高め、経営効率の向上と職員の能力の向上に資するものとなった。

② 教育研究組織の充実・強化

- ・ 組織規程第 15 条に掲げるセンター等に関して、設置目的、組織及び業務等を明確に定めた。
- ・ IR に関する知識の習得を目的として、外部団体が主催する IR 研修会に IR 業務に関係する事務職員を受講させ、職員の資質向上を図った。
- ・ 後援会の総会に本学の副学長・学生部長と関係役職員が出席するほか、同窓会組織の邦友会会議に卒業生情報センター職員が出席するなど、円滑な協力関係の維持強化を図った。

③ 事務等の効率化・合理化の推進

- ・ 事務の合理化・効率化を推進する観点から出勤簿やレッスンカルテをオンライン化し、業務効率向上を図るほか、会議資料のペーパーレス化に努めた。
- ・ 情報システム化を推進する観点から、専任教職員に Google アカウントを付与し、クラウドでの情報共有化を図った。
- ・ 学園ウェブサイトのカスタマイズを行い、学校基本情報や関係規程等を常時閲覧できるようにした。

(2) 財務内容の改善に関する目標を達成するための取組

① 学生生徒等納付金、外部資金及び寄附金等の収入の確保

- ・ 財務内容の改善と安定した経営基盤の確立に向けて、様々な観点から調査を行うなど検討を進め、「中期財務計画（令和 5～7 年度）」を策定した。
- ・ 部門別の学生生徒等納付金データを参考に、学生募集活動の基礎資料として活用した。

② 経費の抑制

- ・ 近年の決算分析等を基に、関係部署において、真に必要とする経費執行の精査を行い経費節減に努めた。
- ・ 前年度実績を基に、経費執行の精査を行い、管理的経費の節減に努めた。

③ 資産の運用管理の改善

- ・ 複数の金融機関による引き合いの実施など、資金運用計画を作成し、効率的かつ効果的に資金運用を行った。
- ・ 本学園の資産を分析し、利用頻度が低く、収益性の低い資産について検討し、文京区の土地の一部を売却した。

(3) 施設設備整備、安全管理及び法令順守等に関する目標を達成するための取組

① 施設設備の整備・活用等

- ・ 川越・文京キャンパスの「無線 LAN 整備計画」（令和 3～5 年度）をもとに、川越キャンパスの 9 号館、11 号館、12 号館、13 号館、16 号館及び文京キャンパスの 4 号館、6 号館、7 号館、8 号館の無線 LAN 整備が完了した。まだ一部未整備の箇所があるため、引き続き令和 5 年度中に整備を進めていくこととする。
- ・ 川越と文京のキャンパス間を結ぶ情報連携システムの基幹サーバーを更新し、システムのバージョンアップを行い業務効率の向上のほか、セキュリティの強化を図った。

② 安全管理の充実・強化

- ・ 理事長を議長とする防火防災対策会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策によりオンラインでの開催を実施した。また、地震等大規模災害を想定した避難訓練として、文京キャンパスは9月1日に、川越キャンパスは9月3日に行い、避難訓練では東京小石川消防署員（文京）、南古谷消防署職員（川越）による講話のほか消火訓練等をそれぞれ実施した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策として、学生・生徒及び教職員等に三密の回避、マスクの着用、手洗いの励行、黙食、顔認証検温モニターでの入館等を徹底するほか、アクリルパーティション、サーキュレーター、アルコール消毒を設置し感染対策を強化した。また、面接授業を実施していることから、ワクチン接種を推奨し、教職員の2回以上のワクチン接種率は90%以上となっている。
- ・ 身体障がい者や高齢者等の目線からスロープや階段手摺等の点検を行い、すべりやすい箇所にすべり止めの対策工事を行った。

③ 法令順守の徹底等

- ・ 専任教職員を対象にコンプライアンスに関する研修として、教員オリエンテーションの際に実施した。
- ・ 理事長・理事と監事との連絡会を開催し、意見交換を行った。また、監査結果や監事意見を踏まえ、指摘された課題等についての改善に努めた。

(4) 自己点検・自己評価及び情報公開等に関する目標を達成するための取組

① 自己点検・自己評価の充実

- ・ 令和2年度に実施した本学の教育研究等について自己点検・自己評価を行った。
- ・ 令和5年度に予定する短期大学機関別認証評価の受審に向けて規程等を点検し、現状に則した見直し等を進めた。

② 情報公開及び情報発信の推進等

- ・ 本学園の教育情報及び財務情報等をWebにより公開（6月）した。
- ・ 学園ウェブサイトの掲載情報を点検し、掲載内容を充実させるとともに、学園ウェブサイトの操作性やデザインの魅力性等の観点から改善に努めた。

令和4年度 主な演奏会等実施一覧

日程		演奏会名	会場
4月22日	金	東邦音楽大学附属東邦中学校・東邦高等学校 クラシックコンサート	南大塚ホール
6月8日 6月9日	水 木	ふじみ野市小学校音楽鑑賞教室	東邦音楽大学 グランツザール
6月11日	土	第11回 北関東甲信越音楽系高等学校演奏会	東邦音楽大学 グランツザール
6月17日	金	青梅市小学校音楽鑑賞教室	福生市民会館 大ホール
7月2日	土	Konzertfach 演奏専攻学生による演奏会	東邦音楽大学 グランツザール
7月17日	日	第221回 定期研究発表演奏会〔ソロの部〕	東邦音楽大学 グランツザール
9月10日	土	2音大クラシック・コンサート	ウエスタ川越 大ホール
10月8日 10月9日	土 日	東邦ミュージックフェスティバル2022	東邦音楽大学 川越キャンパス
10月28日	金	東邦音楽大学附属東邦中学校・東邦高等学校 クラシックコンサート	北とぴあ つつじホール
11月5日	土	Konzertfach 演奏専攻学生による演奏会	東邦音楽大学 グランツザール
11月23日	水	第222回 定期研究発表演奏会〔ウインドオーケストラの部〕	ウエスタ川越 大ホール
11月29日	火	第223回 定期研究発表演奏会〔オーケストラの部〕	ウエスタ川越 大ホール
12月4日	日	第224回 定期研究発表演奏会〔合唱の部〕	東邦音楽大学 グランツザール
12月10日	土	第13回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル2022	東京芸術劇場 コンサートホール
12月18日	日	東邦音楽大学大学院 1年生演奏会	東邦音楽大学 グランツザール
2023年 1月22日	日	中学生・高校生のための第19回日本管弦打楽器ソロ・コンテスト 受賞記念演奏会 ～文部科学大臣賞選考会～	東邦音楽大学 グランツザール
2月11日	土	東邦音楽大学大学院 修士課程学位審査修了演奏会	東邦音楽大学 グランツザール
2月18日	土	TOHO CONCERT 2023 陸上自衛隊東部方面音楽隊&東邦音楽大学ウインドオーケストラ	東邦音楽大学 グランツザール
3月11日	土	東邦音楽大学・東邦音楽短期大学 卒業代表演奏会	東邦音楽大学 グランツザール
3月25日 3月26日	土 日	第12回 音楽大学フェスティバル・オーケストラ2023	東京芸術劇場 コンサートホール ミューザ川崎 シンフォニーホール

フォトギャラリー

6月11日	土	第11回 北関東甲信越音楽系高等学校演奏会
-------	---	-----------------------



7月17日	日	第221回 定期研究発表演奏会[ソロの部]
-------	---	-----------------------



7月24日	日	トライアルコンサート2022～オーケストラとの共演～
-------	---	----------------------------



9月10日	土	2音大クラシックコンサート[ウェスタ川越 大ホール]
-------	---	----------------------------



10月8日	土	東邦ミュージック・フェスティバル2022
10月9日	日	



10月26日	水	ハンガリー配信のための公開演奏収録[星野リゾートリゾナーレ八ヶ岳]
--------	---	-----------------------------------



10月27日	木	東邦音楽短期大学 卒業記念修学演奏旅行[沖縄県恩納村立山田小学校]
--------	---	-----------------------------------



10月28日	金	東邦音楽大学附属東邦中学校・東邦高等学校クラシックコンサート [北とぴあ つつじホール]
--------	---	---



11月5日	土	Konzertfach(演奏専攻)学生による演奏会
-------	---	---------------------------



11月23日	水・祝	第222回 定期研究発表演奏会[ウインドオーケストラ] [ウェスタ川越 大ホール]
--------	-----	--



11月29日	火	第223回 定期研究発表演奏会[オーケストラの部] [ウェスタ川越 大ホール]
--------	---	--



12月4日	日	第224回 定期研究発表演奏会[合唱の部] [ウェスタ川越 大ホール]
-------	---	--



12月10日	土	第13回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル [東京芸術劇場コンサートホール]
--------	---	---



12月18日	日	東邦音楽大学大学院 1年生演奏会
--------	---	------------------



2月11日	土・祝	東邦音楽大学大学院 修士課程学位審査修了演奏会
-------	-----	-------------------------



2月18日	土	TOHOコンサート2023 (陸上自衛隊東部方面音楽隊 & 東邦音楽大学ウインドオーケストラ)
-------	---	--



3月11日	土	東邦音楽大学・東邦音楽短期大学 卒業代表演奏会
-------	---	-------------------------

